



気候変動の影響

勢力を増す台風！



近年、台風や大雨による気象災害が毎年のように発生しています。環境省は、栃木県にも甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風を例に、地球温暖化が進行した場合にどのような影響をもたらすことになるのか、スーパーコンピュータを活用して予測しました。

令和元年東日本台風の被害

台風が栃木県を直撃した10月12日の日降水量は、県内13地点で観測史上最大値を記録し、県内40河川67箇所が決壊・越水、112箇所の上砂崩れ等、県民の生命や財産に大きな被害が発生しました。



秋山川の堤防決壊 (佐野市)



田川の氾濫 (宇都宮市)



車両の浸水 (宇都宮市)



予測の結果

温暖化が進行した将来の令和元年東日本台風の姿は！

予測結果の詳細は環境省 HP で



勢力 中心気圧が低下

台風がより発達した状態で上陸する可能性が高まる。



雨 降水量が増加



実際に関東地方で記録された雨は、時間あたり85mm(息苦しくなるような、恐怖を感じる雨)だった。予測では30%程度増加するとされ、災害リスクがより高まる。(4℃上昇シナリオ)

洪水 河川の最大(ピーク)流量が増加

浸水被害が発生する地域がさらに広がり、浸水経験の少ない地域でも発生する可能性が高まる。(4℃上昇シナリオ)



将来の気候変動影響下で台風が発生した場合 被災地域が広がる可能性がある

気候変動で変化する台風に適応しよう！

気候変動の影響は、すでに起き始めていると言われています。

実際に、「これまで起きなかった場所」で「起きたことのない災害」が発生しています。過去の経験にとらわれることなく、起こりうる「経験したことのない大雨」等から自分たちの身を守るためには、災害が起こることを想定した「事前の備え」が、たいへん重要です。

ハザードマップの確認、マイ・タイムライン(個人の防災行動計画)の作成、避難訓練への参加、防災情報の利活用練習などをしましょう。

マイ・タイムライン の作り方は [こちら](#)



栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



X (旧 Twitter)